公益財団法人 名古屋産業科学研究所　産業界のニーズをキャッチして、研究・技術開発・人材育成をサポートする機関

# 名産研 活動レポート

VOL.25配信
2023.4.28

## CHC より

### あいち環境塾

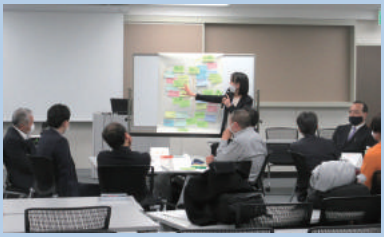
### 2022年度「オープン講座」を開催しました

●日時/2023年3月4日（土）
13:00−16:30
●会場/ 名古屋商工会議所ビル内会議室
オンラインでも中継

●参加者/ 会場　17名
web　26名

●主催/ 愛知県、当財団

今回は以下構成のプログラムで行い、参加者の方々に当塾のエッセンスを肌で感じて頂きました。
①「あいち環境塾」の説明
②中部SDGs推進センター代表理事戸成司朗氏による講演（上写真）
③卒塾生による成果発表
④会場参加者によるディスカッション（下写真）



### eナビセミナーの特別セミナーを開催しました

●日時/2023年3月9日（木）
13：00-13：45
オンライン開催
●開催内容
①セミナー主旨・AI研修の紹介
セイコンサルティンググループ(株)　田渕真理子氏
②「知能業務の自動化を、やすく、はやく」
(株)トライエッティングCEO兼CRO　長江祐樹氏
●実参加者/ 6社 (申込25社)

主催/ 当財団
協力/セイコンサルティンググループ(株)

eナビセミナー第一弾テーマ「AI導入の取り組み方」のセカンドセミナーとして、無料オンラインセミナーを企画し、今回は関東地区の中小企業様約5万社をターゲットに、LP付DMで財団PRを兼ねてご案内する新しい広報手段を活用して開催しました。

↓　講演スライド抜粋

## CHC より

### 研修のご案内

### あいち環境塾
### 2023年度塾生募集中

●期間/ .6/3～11/25 期間の13日間 （基本土曜日開催）

●会場/ 名古屋商工会議所ビル内会議室

●募集対象者/
県内の企業、団体、大学、行政機関等に所属の方で概ね60歳以下の方で、原則全日程参加できる方

●定員/ 20名

●参加費/ 55,000円（税込）

●申込み期限/ 5/8（月）

主催/ 愛知県、当財団

「あいち環境塾」は、持続可能な社会づくりの「ビジョン」と「こころざし」を持ち、地域や職場で活躍できる人材を育成する事を目的に2008年度から愛知県と当財団が共同で開催しています。
エネルギー問題、資源循環、生物多様性など環境に関連する各分野の専門家による講義を受け、講師と直接意見交換を行うとともに、チームディスカッションを行い、20年後の未来社会へ向けての環境に関する政策やビジネスモデルを提言します。

↑パンフ表紙と講師陣紹介ページ

**詳細はこちら**

https://www.nisri.jp/chc/topics/topics-detail.html?id=154

## 中部 TLO より

### Go-Tech事業 実績紹介

令和4年度より旧サポイン事業の継続案件と共に、この新規事業への対応をしています。

当財団はこの管理機関として、毎年、一般公募からの相談を経て申請手続きをし、

Go-Techとは、Growth-oriented SMEs Technology Development Support Grant Programの略称で、「中小企業の特定ものづくり基盤技術およびサービスの高度化に関する指針（ものづくり高度化指針）」に基づいて中小企業庁が実施する「成長型中小企業等研究開発支援事業」をGo-Tech事業と呼んでいます。
平成18年度から令和3年度までは、戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）として公募されておりましたが、令和4年度の公募から事業内容が変更になりました。

| 採択 | 終了 | 分野 | 事業名 |
|---|---|---|---|
| R4 | R6 予定 | 複合・新機能材料 | パワー半導体の高密度実装に対応した高放熱セラミックス基板の開発 |

**詳細はこちら**

https://www.chusho.meti.go.jp/sapoin/index.php

## 財団事務局より

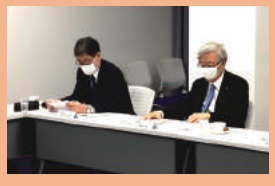
### 2023年3月通常理事会のご報告

●日時/ 2023.3.24(金)
16:00-17:00

●場所/ 名古屋商工会議所ビル内会議室
（オンライン併用）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策継続のため、3月度の通常理事会は、会場とオンライン併用型開催で行い、議事案のご承認を得ました。

出席役員　理事 13名　監事 2名
審議案件　第1号議案「令和5年度事業計画（案）」に関する件
第2号議案「令和5年度収支予算書（案）」に関する件
第3号議案「令和5年度資金調達及び設備投資の見込み」に関する件
第4号議案「規程管理規程」に関する件
報告事項　代表理事、業務執行理事の職務執行の状況報告



←
議長：内藤理事長（右）と
小野木専務理事

## 中部TLOによる大学発シーズ育成支援プロジェクトの実績報告

中部TLOでは、令和4年に大学シーズの育成支援の新たな取り組みとして、クラウドファンデングを活用しての研究資金調達を含めた支援活動を行いました。

今回、その成果報告をさせて頂きます。

■国内最大手のクラウドファンディングプラットフォームCAMPFIREにおいて、中部TLOが大学発シーズの育成支援プロジェクトのクラウドファンディング募集を実施しました
（募集期間：2022年1月20日～2月末日）。

現在は社会実装に向けたサポートを継続中です

以下に、支援先：岐阜大学医学部看護学科 金子洋美 助教を中心としたチームの開発成果をご紹介します。（当該CAMPFIRE社webより抜粋）

### １年間の活動報告とお礼

2023/03/24 09:40

**ご支援いただいた皆様、これまで一年間のプロジェクトの活動をご報告申し上げます**

クラウドファンディングで目標達成後、集まった皆様の支援金を活用して、ヨガのストレッチの効果を測定する評価器具「O<Leg®」（オオレッグ）を製作（**写真１**）、スマホアプリ「G Mam-Mw®」とともにユーザーテストを行いました。

ユーザーテストの結果、開脚度を測定する器具をスマホカメラで撮影することで、簡単に角度測定とスマホにデータが記録できる点はおおむね好評でしたが、スマホの機種、撮影角度の違いによって測定値が変動してしまう問題が見つかりました。また、測定器具の一部が股間に触れてしまうことで他人と一緒に使うのが気になること、測定器具が大きく、また畳めないので収納に困ることも課題として判明しました。

写真１：O<Leg®による測定の様子

そこで、３Dデザインのできる名古屋市のスタートアップ企業にご協力していただき、股間に接触せず、折りたためるようにするとともに、女性に好まれるような外観デザインを検討しました。検討では、妊産婦さんが素材に敏感であることも考慮すべきとのことで、測定器具の材質をプラスチックから温かみのある木材へと大きく変更することにしました。

昨年８月まで検討を重ねて基本デザインを完成させました。幸い、測定器具O<Leg®を考案した岐阜大学の所在県は、「飛騨の匠」として知られる木工の地でもあります。今回、地元の木製品の技術相談で定評のある岐阜県生活技術研究所が新デザインの測定器具の設計と製作を引き受けていただけることになりました。

今年2月、生活技術研究所で第１号試作機が完成しました（**写真２**）。基本デザインでは、強度等が考慮されていなかったこともあり、適切な木材選定、可動部の工作などで多くの労力があったとのことです。新しい測定器具は、股間部に接触せず測定でき、コンパクトに収納できます。木の温かみと丸みのあるデザインで女性や妊婦さんにとって受け入れやすいものと思われます（**写真３**）。O<Leg®の考案者の金子助教は、現在、できるだけ早期に評価するための準備を進めています。

この１年間、皆様の支援金を有効に活用し、当該シーズを社会実装に向け活動してきました。実際のところ、新たに測定器具を製作するほどの予算には足りなかったのですが、本プロジェクトに賛同した企業団体からの暖かいご協力が得られたことで何とか製作することができました。これは大きな喜びです。今後、岐阜大金子助教らと連携して社会実装に向けてがんばります。

**【開発チームメンバー：　岐阜大学医学部看護学科 助教 金子 洋美】**

支援者の皆様

皆様のご支援を頂きまして、より精度の高い測定器の開発が進んでおります。ひとえに支援をしてくださいました皆様、中部TLO様と関係者の方々のお力と心より感謝申し上げます。皆で子育てできる環境を作っていくために今後も精進してまいります。

これまでのご支援に深く感謝するとともに、今後とも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

写真２　製作者：岐阜県生活技術研究所 木工職人 小池氏

■この支援事業は、国内TLO 機関として初めての取組みであり、産学連携の新しい形としてのチャレンジです。
第一弾は岐阜大学の金子洋美先生が考案されたシーズであり、73名の方から目標を上回る103万1千円の支援が集まり、公益性のある研究成果がもっと世にでてきてほしいという社会の期待の現れと大いに手ごたえを感じました。

中部TLO事業部長
加美謙一郎